

サラ・チャイルズ教授 講演会

ジェンダー視点に基づく議会改革

Toward a Gender-sensitive Parliament

[日時] 2023年 **1月19日** (木) 16:00-17:30

[場所] 衆議院第一議員会館 国際会議室

※参加無料／同時通訳あり

※定員 100名

※事前申し込み制／こちらより申し込みください→



I P U (列国議会同盟) は2012年に「ジェンダーに配慮した議会のための行動計画」を採択し、各国議会が自己点検を実施することを推奨している。日本においても I P U 自己点検に向けて、衆議院が2021年4～5月に全衆議院議員を対象に「議会のジェンダー配慮への評価に関するアンケート調査」を実施し、6月に報告書を発出した。イギリスでは先進国議会としては初めて2018年にI P U自己点検を実施している。そこで、イギリスの実施状況に詳しく、またジェンダーの視点から議会改革を提言しているこの分野の第一人者、サラ・チャイルズ教授をお招きし議論を深める。

[開会の挨拶]

大串和雄 (日本学術会議連携会員・東京大学大学院法学政治学研究科教授)

[趣旨説明]

三浦まり (日本学術会議連携会員・上智大学法学部教授)

[講演]

サラ・チャイルズ (英国エジンバラ大学社会政治学部教授)

[討論]

武田宏子 (日本学術会議連携会員・東海国立大学機構名古屋大学大学院法学研究科教授)

[閉会の挨拶]

中川正春 (衆議院議員、政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟会長)

サラ・チャイルズ Sarah Childs

ブリストル大学、ロンドン大学バークベックカレッジ、ロイヤル・ホロウェイ校で教鞭を執った後、2022年よりエジンバラ大学社会・政治学部教授。主著にWomen and British Party Politics, Sex Gender and the Conservative Party, Feminist Democratic Representation など。2015年-16年の英国庶民院での調査をもとに「**The Good Parliament**」報告書を執筆。



[主催] 日本学術会議政治学委員会比較政治分科会

[後援] 政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟

[協力] 科研費(研究課題番号: 18H00817, 代表: 三浦まり)



「The Good Parliament」